



熊本県市町村広報担当者による
合同特集①

今、熊本のサッカーが**熱い**

日本中が熱狂の渦に包まれたサッカーワールドカップ(W杯)カタール大会。熊本でもプロサッカークラブのロアッソ熊本や大津高校サッカー部が素晴らしい結果を残し、地元を盛り上げています。熊本のサッカーの魅力をお伝えします。



写真提供：©kasanosuke

写真提供：©AC KUMAMOTO



サッカーの楽しさを聞きました
多くの人が、それぞれのスタイルでサッカーを楽しんでいます。

メンバーは全員60歳以上!



熊本オールドキッカーズ(KOK)

中村忠士さん
(熊本市・85歳)

KOKのモットーは『生涯現役でサッカーを楽しむ』こと。90歳代のメンバーもいて目標になりますし、年代ごとのカラーパンツや特別ルールもあるので安全です。週に1~2回の練習は試合中心で、体力維持にも役立っています。歳を重ねたからこそ、純粋にサッカーが好きな仲間が集まってプレーできる今が一番楽しいですね。

大胆でアクロバティックなプレーが魅力!



アヴェルダージ熊本BSベルメール

桑原美帆さん
(熊本市・27歳)

ビーチサッカーの魅力は大胆でアクロバティックなプレーです。私は、サッカーやフットサルの経験者で、だからこそビーチサッカーの魅力に取りつかれました。ビーチサッカーはコートが小さいので試合の展開が早く、オーバーヘッドキックなどの派手なプレーを楽しめます。一度見てもらえればその魅力に気付くはずですよ。

時にライバルとして高め合える仲間たち



キッズサッカー Son's甲佐

鋼鐵琉生さん
(下益城郡美里町・10歳)

サッカーをしていた父の影響で自然とサッカーに興味を持ちました。チームが勝っても負けてもその喜びと悔しさを仲間の人々と共有できることがサッカーの魅力だと思います。将来の夢は海外のクラブで活躍すること。憧れの吉田麻也選手のようにチームのために献身的なプレーができる、そんなサッカー選手を目指します。

障がいがあっても楽しめる



ソレックまもとIDサッカークラブ

徳丸舜さん
(山鹿市・28歳)

私たちのサッカークラブは知的障がい者のチーム。知的障がい者のサッカーといってもルールの違いはありません。競技人口はあまり多くありませんが、最近ではチームメイトの知人を通じて加入する人もいて、徐々に輪が広がっているのを感じます。1つのボールでみんなとつながるのがサッカーの魅力。ぜひ私たちと一緒にサッカーを楽しみましょう。

知られざるサッカー王国



熊本ではサッカーが盛んなことを知っていますか。昨年のJリーグでは、県出身の41人が活躍。人口当たりの選手数では京都、大分に次いで全国で3番目に多い数字です(※)。

その中の一人が、熊本市出身の谷口彰悟選手です。昨年のW杯に出場し、日本代表のベスト16に大きく貢献しました。谷口選手の母校・大津高校は、ことしの全国高校サッカー選手権大会で3位。昨年の準優勝に続き、県民を勇気付ける活躍を見せました。昨季J2リーグ戦で過去最高の成績を残したロアッソ熊本も地元を大いに沸かせました。惜しくもJ1昇格はなりませんでしたが、熊本サッカー界に新たな歴史を残しています。

サッカーはグラウンドやスタジアム、そして砂浜まで、どこでも楽しむことができます。みんながボールを蹴る、好きなチームを応援する、その自由な楽しみ方がサッカーの魅力かもしれません。

※選手数はJリーグ公式サイトから。人口はR4.1.1住民基本台帳人口。

サポーターの応援を力に 飛躍誓う

昨年11月19日、熊本市のサンロード新市街で「2022ロアッソ熊本ファン感謝祭・大忘望年祭」が開催されました。

3年ぶりの今回は、例年別日に行う「ファン感謝祭」と「大忘望年祭」をコラボ。熊本を盛り上げたい、ロアッソをもっと盛り上げたいと、チーム運営会社のアスリートクラブ熊本、ロアッソ熊本をJ1へ運動推進本部、サポーター有志でつくる実行委員会が共催。ステージイベントや選手サイン会・撮影会などが行われ、会場は熱気に包まれました。



大勢のサポーターが参加。選手と監督は今季の飛躍を誓った
(写真提供:田中さん)

ウ ルトラアルデラスは、ロアッソを熱く応援するサポーター集団の一つです。他の団体と協力しながらスタジアムで応援をリードしたり、選手の横断幕を製作したりして、より多くの人が楽しく観戦できることを目的に活動しています。

私は妻と試合観戦をしたことがきっかけでサポーターになりました。活動の魅力は普段の生活では出会えない職業

や年齢層の人たちと会って、同じチームを応援し気持ちを共有できること。スタジアムでファンがサッカーを楽しむことで観客動員数が増え、結果的にチームの力になればうれいですね。

昨季は念願のJ1昇格が見えたシーズンでした。魅力的なロアッソのサッカーを見てファンになったという声も聞きます。大木武監督の下、チームが一つになって戦って



ウルトラアルデラスのホームページはこちら↓

ロアッソ熊本 2 サポーターインタビュー 共にチームを盛り上げ ロアッソを熊本の誇りに



ウルトラアルデラス
代表 田中宏征さん

いるように感じました。クラブ、サポーター、スポンサー、熊本が一体となってチームを盛り上げることができれば、必ずJ1に昇格できると信じています。

ロアッソが熊本を代表するプロスポーツチームになるために、私たちと一緒にスタジアムでロアッソを応援しましょう。

INFORMATION ♪ お知らせ

TICKET 抽選で観戦チケットが当たる!

読者の皆さん50人に今季のホームゲーム全試合共通A席チケット(※)が当たります。ぜひご応募ください。
※QRチケット引換券のため、ウェブ上で手続きが必要です

応募期限 4月28日(金) 必着

応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、お住まいの自治体の魅力や広報紙に対する意見・感想を記入して応募してください。

▶応募は1世帯1枚までとします

▶応募多数の場合は抽選とし、当選者発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます

問い合わせ・応募先 〒863-8631 (住所不要)

天草市役所秘書課「読者プレゼント係」

☎0969-24-8816

2023シーズンリーグ開幕!

J1昇格を懸けたロアッソ熊本の熱い戦いが始まります。県民の皆さんの応援が、ロアッソ熊本の選手の力になります。えがお健康スタジアムに足を運んでみませんか。

明治安田生命 J2リーグ

節	試合日程
第3節	3月5日(日) 午後1時 vs 大宮
第5節	3月19日(日) 午後2時 vs 長崎
第7節	4月2日(日) 午後1時 vs 徳島
第8節	4月9日(日) 午後3時 vs 金沢
第11節	4月21日(金) 午後7時 vs 千葉



悲願の J1昇格に向けて 全力を尽くす

県内唯一のプロサッカークラブであるロアッソ熊本。昨季、J1目前まで迫りながら惜しくも昇格を逃しました。あと1歩で届かなかったJ1昇格。今季に懸ける思いをロアッソ熊本の黒木晃平選手とサポーターの田中宏征さんに聞きました。

ロアッソ熊本 黒木晃平 選手

くろき・こうへい 1989年7月31日生まれ。ポジションはディフェンダー。大津高校では主将としてチームを牽引し、U-18日本代表候補にも選出。佐賀大学卒業後はサガン鳥栖に所属。平成27年、ロアッソ熊本に完全移籍し、昨季はチーム加入後最多の41試合に出場。過去最高の成績を取ったチームを豊富な運動量と積極的な攻守で支えた。大津町出身。33歳。



ロアッソ熊本 1 選手インタビュー 声援がチームの力になる

昨 季はたくさん熱い応援をいただき、ありがとうございました。

ロアッソでは毎回、課題を修正しながら試合に挑むようにしています。若い選手が多いですが、試合を重ねる中で自信が付き、チームの雰囲気も良くなってきました。その成果が表れたのか、年間を通して連敗が減ってきていると思います。

とっての一番の夢。皆さんも期待していると思うので、J1をつかみ取れるようにチーム一丸となって汗を流していきます。

私個人としても多くの試合に出場し、ディフェンダーとして攻守にわたりチームに貢献できるよう準備していきたいですね。

今季も県民の皆さんに感謝してもらえよう試合をお届けしますので、ぜひスタジアムに足を運んでください。サポーターの声援が私たちの力になります。



試合終了後、サポーターへあいさつをする選手たち
(写真提供: ©AC KUMAMOTO)